



平成29年度の徳島大学病院の卒後臨床研修が、多数の新人研修医を迎え始めました。徳島大学病院では、魅力ある初期研修プログラムを提供し、心優しいスタッフたちがきめ細やかに指導しお世話をしていますが、研修プログラム以上に大事なものは各人の志と自主性、積極性です。医師は患者さんやご家族、医療スタッフと積極的にコミュニケーションをとり、自ら学び、経験を積み、そして真摯に医療に取り組むことで成長していきます。どうか初心を忘れず、いろいろな経験を積んで2年後には大きく成長して下さい。

2年目の研修医の方々も、1年間で大きく成長したことでしょう。3年目以降の専門研修や研究者としての道の足掛かりとなるように、一層精進していただきたいと思っております。

共に徳島大学病院で働き、研修し、医療・医学に貢献しましょう。



病院長 永廣 信治

平成29年度は26名の研修医が新たに加わりました。



BLS実習(医科・歯科合同)



気管内挿管実習



安全管理研修(医科・歯科・看護部合同)



総合実習

平成29年4月3日より、平成29年度の初期臨床研修が開始となりました。今年度は1年次研修医26名が加わり、2年次研修医21名と合わせて研修医は47名となりました。病院全体で協力し、他部署の新人と合同で研修医オリエンテーション(4月3日～4月11日)を行いました。研修医がマスターすべき基本的な知識・技能の教育だけでなく、歯科・看護部・薬剤部・診療支援部・事務部などの多くの職種の方々にご協力いただき、医療人としての基礎をなすコミュニケーションや医療倫理などの研修も行いました。オリエンテーション期間中の4月7日には、ホテルクレメント徳島において徳島大学病院主催の新人情報交換会が開催されました。今年度も全職種の新入職員全員を祝すために、全部署から総勢339名が集う盛会となりました。4月23日には、徳島県医師会主催で新人研修医歓迎のつどいが催されました。他の研修病院の2年次研修医も数多く参加しており初期研修を乗り切るための心構えなどに関して大いに意見交換をすることができました。このようにさまざまな病院・医師会・徳島県の協力を受け、徳島県全体で研修医をサポートする体制が出来つつあります。

オリエンテーションを終えた1年次の研修医は4月12日から、各診療科にて研修を開始致しました。至らぬことも多いと思っておりますが、愛をもって温かい目で研修医を育てていただけますようお願い致します。

今年度も、研修医のみならず、医師・看護師他さまざまなコメディカルの方々も参加可能な研修医教育講座とスキルアップセミナー(各10回ずつ、合計20回)を開催させていただき予定です。年間を通じて研修医の知識と技術の向上の場としてだけでなく、様々な分野の方々とのコミュニケーションを図る場にもなればと考えております。御指導頂く各科の講師の先生方には引き続きご協力頂けますよう宜しくお願い申し上げます。

今年度も、研修医のみならず、医師・看護師他さまざまなコメディカルの方々も参加可能な研修医教育講座とスキルアップセミナー(各10回ずつ、合計20回)を開催させていただき予定です。年間を通じて研修医の知識と技術の向上の場としてだけでなく、様々な分野の方々とのコミュニケーションを図る場にもなればと考えております。御指導頂く各科の講師の先生方には引き続きご協力頂けますよう宜しくお願い申し上げます。



徳島大学病院主催 新人情報交換会(全職種合同)



平成30年度 徳島大学病院 卒後臨床研修プログラム

徳島大学病院卒後臨床研修センターホームページ <https://www.tokudai-sotsugo.jp/>

平成30年度の卒後研修プログラム内容が決まりました。「メディカルゾーン重点研修プログラム」が新たに加わり、「AWAすだちプログラム」・「産婦人科研修プログラム」・「小児研修プログラム」と合わせて4つの中から選択可能です。各プログラムの詳細は徳島大学病院卒後臨床研修センターホームページをご覧ください。

パターン 1 AWAすだちプログラム (定員28名)

徳島大学病院と全国の協力病院にて研修を行うプログラムです。協力病院は最大2病院で最長12ヶ月まで選択可能です。将来の希望に合わせてプライマリケアから高度先進医療の研修まで柔軟に対応可能です。

★パターン 2 **New!!** メディカルゾーン重点研修プログラム (定員3名)

「オール徳島で医療人を育成する」プログラムです。徳島県の医療の中核を担う総合メディカルゾーン本部(徳島大学病院・徳島県立中央病院)を主軸とし、南部・西部センター病院群やその他県内の様々な研修病院での研修が可能です。徳島大学病院で研修を行いながら徳島県立中央病院でも研修を行う融合研修が特徴です。メディカルゾーンの詳細に関しては右図をご参照下さい。

パターン 3 産婦人科研修プログラム (定員2名)

将来、産婦人科専門医を目指す研修医を対象とし、必要とされる研修を有効かつ効果的に研修可能なプログラムです。全国の協力施設と連携し、産婦人科領域における各分野のエキスパートのもとで、専門的なレベルの研修を行うことも可能です。

パターン 4 小児研修プログラム (定員2名)

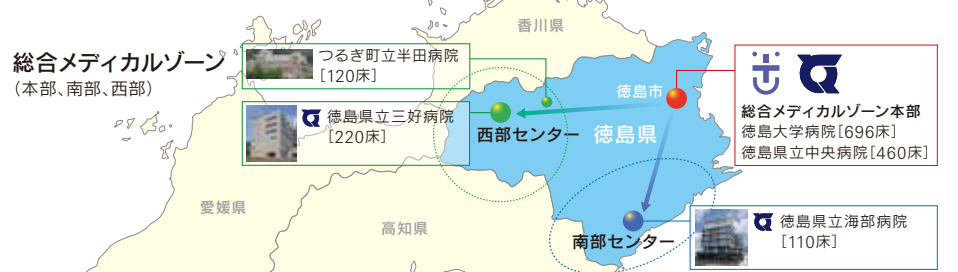
将来、小児医療に携わりたい研修医を対象としたプログラムです。徳島大学病院だけでなく全国の協力病院と連携し、小児科だけでなく小児外科も含めた小児医療全般に関して幅広くかつ専門的な領域まで深く研修が行えるプログラムです。

*総合メディカルゾーン構想

徳島県では、高度先端医療を提供する特定機能病院である徳島大学病院(696床)と徳島県の高度急性期医療の中核病院である徳島県立中央病院(460床)が連絡橋(メディカルブリッジ)で繋がれているという全国でも類を見ない特異な地理的状況があります。この特性を最大限に生かし、2病院合わせて1156床の巨大な総合メディカルゾーン本部を形成すると共に、メディカルゾーン西部センターである徳島県立三好病院・メディカルゾーン南部センターである徳島県立海部病院とも協力し、「県民医療の発展」と「地域医療の再生」を図るための徳島県全域を対象とする医療構想のことを指します。



2018年度末に、両病院間の壁が取り払われ敷地が一体化された時の完成図



徳島大学病院卒後臨床研修プログラム説明会スケジュール

- 6月24日(土) 平成30年度 徳島大学病院卒後臨床研修プログラム説明会(徳島大学 大塚講堂)
- 7月 2日(日) レジナビフェア 2017 in 大阪(インテックス大阪)
- 7月16日(日) レジナビフェア 2017 in 東京(東京ビッグサイト)

研修医紹介

1

1年目研修医

岩城 真帆  宮崎から徳島に戻ってきました。まだまだ分からないことばかりですが、よろしくお願ひします。	大西 一  分からないことばかりで皆様にご迷惑をおかけすることも多いかと思いますが、精進できるよう頑張ります。	岡田 衣世  まだまだ右も左も分からない状況ですが、ご指導、ご鞭撻の程、よろしくお願ひ致します。
---	---	--

喜田 有佳里  徳島大学病院で研修生活を送れることになり、とても嬉しいです。未熟ですが、ご指導よろしくお願ひします。	清水 郁子  「患者さんに信頼してもらえる医師」が目標です。分からないことだらけですが頑張っていきます。	志村 拓哉  大阪から徳島に戻ってきました。分からないことだらけですが、精一杯頑張りますので、よろしくお願ひします。	住田 智志  拙いことばかりですが、患者様に寄り添いながら日々成長していく所存です。よろしくお願ひ致します。	竹内 峻亮  一日一日を大切に、日々精進していきたいと思っています。ご指導よろしくお願ひ致します。	辻本 賀美  患者さんと誠実に向き合い、一日一日を大切に成長していけたらと思います。ご指導よろしくお願ひ致します。	豊田 直人  徳島大学病院のチームの一員であるという自覚を持ち、出来ることを一つ一つ増やしていきたいです。
--	--	--	--	---	---	---

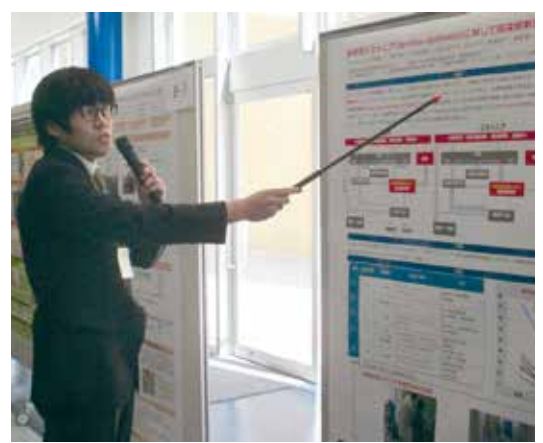
中野 陸基  他者の役にたてる医師を目指して研修します。長い目で見ていただければ幸いです。よろしくお願ひします。	平岡 淳一郎  地元徳島で研修できることを嬉しく思います。日々精進していきたいと思っています。よろしくお願ひいたします。	矢野 哲弘  まだまだ解らない事が多いですが、同期の仲間と力を合わせて頑張っていきたいのでよろしくお願ひします。	山口 純代  少しでも多くのことを吸収できるよう精一杯努力いたします。ご指導よろしくお願ひいたします。	山下 貴央  2年間の研修で自分に必要な知識、手技を身につけられるよう努力していきたいと思っています。	<h1>2</h1> <h3>2年目研修医</h3>	荒瀬 美晴  1年目の経験を活かしなが、更に様々なことを学んでいきたいと思っています。ご指導よろしくお願ひ致します。
---	---	---	--	--	----------------------------	---

岩橋 祥子  優しくてデキる女医が目標です！一生懸命頑張りますのでよろしくお願ひします。	遠藤 ふうり  どのような時も誠実に、一生懸命頑張ります。よろしくお願ひいたします。	笠井 昭成  2年目になりました。研修医最後の年であり去年以上に日々精進していきたいと思っています。	菊池 高史  2年間の研修での経験を将来に活かせるよう、精一杯取り組みます。ご指導よろしくお願ひ致します。	久保 友紀子  研修を通して多くの事を勉強、経験し、初心を忘れず常に患者様に誠意をもって接していきたいと思っています。	高島 拓也  5月から日本医科大学に行き、11月に帰ってきます。しっかり勉強して帰ってくるので、よろしくお願ひします。	田中 ころも  人の気持ちに寄り添い、信頼される医師となれるよう日々精進します。ご指導の程よろしくお願ひ致します。
--	--	--	---	---	---	---

西山 美月  2年目の研修は、決断の年だと思います。活かせる研修が出来るように頑張ります。よろしくお願ひ致します。	福田 喬太郎  昨年は愛媛県中でお世話になりました。明るく・熱く・誠実に2年目も頑張ります。よろしくお願ひします。	松本 唯  これまでの研修を生かして、残りの研修も精一杯取り組んでいきます。よろしくお願ひします。	宮武 亜希子  研修期間も残り少なくなりましたが、まだまだたくさん吸収できるよう努力したいと思います。	横田 典子  日々勉強し、頑張りますので、よろしくお願ひします。	Robert Zheng  1年間を通して少し理想の医師像が見えてきたので、それを目指して日々精進していきたいと思っています。	武田 明日香  初心を忘れず、医師としても人間としても大きくなれるよう頑張ります。よろしくお願ひいたします。
---	---	---	---	--	---	--

第254回 徳島医学会学術集会

平成29年2月19日(日)に大塚記念講堂にて第254回徳島医学会学術集会が開催されました。各診療科の指導医の先生方にご指導いただき、2年次研修医6名、1年次研修医6名の合計12名の研修医が発表を行い、2年次研修医 小山広士先生が若手奨励賞を獲得致しました。ご指導いただきました各診療科の先生方には厚く御礼申し上げます。



若手奨励賞
2年次研修医 小山広士先生(脳神経外科)
「遅発性ジストニア(tardive dystonia)に対して脳深部刺激術を施行した5例」

先輩からのメッセージ

初期研修から備える専門への道

徳島大学病院 形成外科・美容外科 中川 舞
(H27~H28年度 徳島大学病院 AWAすだちプログラムで研修)

春になり皆様それぞれ新しい環境に慣れてきた頃でしょうか。私は徳島大学病院での初期研修を終え、形成外科での専門研修を開始しました。3年目になり、より強く徳島大学病院で良かったと実感しています。

徳島大学病院の初期研修は、他の追随を許さない圧倒的な自由度を誇り、また、多彩な協力病院は交渉次第で一步踏み込んだ研修も可能です。学生時代から進路を形成外科と決めていた私にとって正に天国でした。

“形成外科が少しでも関わる科は全て回りたい”、“他の病院の形成外科も見たい”

私は図々しくも希望のすべてを表出し、周囲の暖かなご支援により、卒後センタースタッフをして「形成外科専門初期研修である」と言わしめる研修プログラムの作成に至りました。

特に協力病院での研修は有意義でした。徳島大学病院形成外科教授の橋本先生をお願いして、ケロイド治療の先鋒施設たる日本医科大学を紹介していただき、後に恩師となる赤石先生から日本医科大学の医局員と等しく熱いご指導を賜りました。徳島大学病院からは初めての研修医受け入れにも拘ら

ず、執刀まで許していただき、その中でメスや針先の感覚、浅筋膜や真皮の縫合について深く学ぶことができました。

これまでに西日本にはケロイド専門治療の拠点が少ない現状があり、研修で持ち帰った内容と併せて徳島大学病院形成外科へ報告しました。新米の意見にも耳を傾ける柔軟な姿勢から、本年より徳島大学病院でもケロイド専門外来を開設する運びとなりました。

濃密な初期研修は専門研修へのスムーズな移行の一助となります。我々若手から何かを変えるのは難しいことですが、それを可能とする環境とプログラムが徳島大学病院には確かに存在しています。専門の道を往く備えとして、徳島大学病院での初期研修を強くお勧めします。



後列右端が筆者



卒後臨床研修センタースタッフ

平成29年度卒後臨床研修センター
卒後臨床研修センターは、今年度もセンター長の安倍正博教授(血液内科)、副センター長の西京子特任准教授(脳神経外科)、飛梅威助教(循環器内科)、西野豪志特任助教(食道・乳腺・甲状腺外科)、田中久美子特任助教(消化器内科)の5名体制で頑張ります。研修医の先生方が、安全で充実した研修生活を送り、自身の夢をかなえることができるようサポートして参りますので、今後ご協力ご支援の程よろしくお願ひ申し上げます。
■ニュースレターに関するご意見・ご要望など、お気軽にお寄せください。
bsotsugo@tokushima-u.ac.jp

徳島大学病院
Tokushima University Hospital
徳島大学病院卒後臨床研修センター
Tel: 088-633-9359 Fax: 088-633-9358
E-mail: bsotsugo@tokushima-u.ac.jp
URL: http://www.tokudai-sotsugo.jp